

## PIERIA 美術イタリア語 基礎講座 ステップ 4

### 【目次】

課	内容	コラム
1	1)遠過去 2)前過去	1枚の絵「リビングに飾るなら」
2	1)直説法と接続法 2)接続法の活用（現在と過去） 3)接続法の用法	1枚の絵「これもまた受胎告知」
3	1)接続法半過去 2)接続法大過去	1枚の絵「正統派！」
4	1)条件法 2)仮定文 3)前置詞	1枚の絵「政治は忘れない」
5	1)不定詞 2)過去分詞 3)現在分詞 4)ジェルンディオ	1枚の絵「涙なしでは」
6	1)序数形容詞 2)時・月日の表し方 3)トロンカメント	今後の学習について ——語彙力強化——

### 【この本の使い方】

#### 「一歩進んで」コーナーとは？

イタリア語の文法には例外が多く、初めて学ぶ人はそのせいで「イタリア語は難しい」「文法は嫌いだ」と感じてしまうようです。なるべくストレスなく学習を進めるため、本テキストでは細かな文法規則や語学のトリビアを、この表のような「一歩進んで」というコーナーに集めました。

初めてイタリア語を学ぶ方は、まずは「一歩進んで」を飛ばして学習してみてください。基本をしっかり理解したうえで「一歩進んで」を読むと、きっと目からうろこ。楽しいイタリア語の世界が広がるはずです。

### 【コラム】

文法講座もステップ4となるとかなり頭を使うので、コラムは比較的軽い話題を取り上げました。1枚の絵をゆるい視点で鑑賞しながら、少しでもイタリア語の語彙も身に付けてもらえればと思います。

## PIERIA 美術イタリア語 基礎講座 ステップ4 第2課

### 2.1. 接続法と直説法

実は、今まで触れずに来ましたが、これまでに皆さんが見てきた現在・未来・近過去・半過去・遠過去といった時制は「直説法」に属するものでした。今回は、直説法とは異なる「接続法」を学びます。「直説法」と「接続法」の基本的な違いは以下の通りです。

**直説法**：事実を述べる。

**接続法**：真実度の低い事柄(= 真実かどうかわからない事柄 OR 非現実の事柄)を述べる。

例えば、ある推理小説に下の3つの文があったとします。

- a. 元恋人が花嫁を殺した。
- b. 元恋人が花嫁を殺したのではないかと警察は疑っている。
- c. 真犯人である花婿は、元恋人が花嫁を殺したように見せかけた。

どの文にも「元恋人が花嫁を殺した」とありますが、a.の「元恋人が花嫁を殺した」は単なる事実ですので、直説法で表現します。

- a. 元恋人が花嫁を殺した。  
(事実＝直説法)  
⇒ L'ex-fidanzato ha ucciso la sposa.

一方、b.における「元恋人が花嫁を殺した」は「のではないかと疑っている」と続いているので**事実かどうかかわからず、接続法で表現**します。c.に至っては「真犯人である花婿は～ように見せかけた」とあるので明らかに嘘、つまり**非現実**ですね。これも**接続法で表現**します。ただし、b.の「(警察が) 疑っている」ことやc.の「(花婿が) 見せかけた」ことは事実ですので、これらは直説法で表現します。

- b. 元恋人が花嫁を殺したのではないかと警察は**疑っている**。  
(事実かわからない＝接続法) (事実＝直説法)  
⇒ La polizia **dubita** che l'ex-fidanzato **abbia ucciso** la sposa.

- c. 真犯人である花婿は、元恋人が花嫁を殺したように**見せかけた**。

(非現実=接続法)

(事実=直説法)

⇒ Lo sposo, vero colpevole, ha fatto finta che l'ex-fidanzato avesse ucciso la sposa.

a. 「事実」を直説法で、b. 「事実かわからないこと」や c. 「非現実」を接続法で表現すると言ったのはこういう意味です。

(略)

SAMPLE

## Esercizi 2

【1】 次の動詞を①接続法現在と②接続法過去に活用させなさい。

iniziare, leggere, scrivere, ispirarsi, essere, avere

【2】 下線部を適切な形に変化させて意味を書きなさい。( ) に指示があればそれに従いなさい。

- 1) Questo libro dire (現在形) che un museo a Tokyo conservare l'ultima opera del pittore.
- 2) Si dire (現在形) che un museo a Tokyo conservare l'ultima opera del pittore.
- 3) pensare(io : 現在形) che si dovere chiedere l'autorizzazione per eseguire copie al museo.
- 4) bisognare (現在形) che si chiedere l'autorizzazione per eseguire copie al museo.

(略)

【3】 日本語に合わせて下線部を接続法現在または過去に書き換えなさい。

- 1) Non ha risposto ancora ma è possibile che lui accettare questo dipinto per denaro.  
彼はまだ返事をしていないが、金のためにこの絵の制作を引き受けるというのはいり得る。
- 2) Hanno pagato 3 milioni euro per questo dipinto ? È possibile che lui realizzarla per denaro.  
この絵に 300 万ユーロも払ったんだって？彼が金のためにそれを描いたというのはいり得る話だ。

(略)

【4】 次のイタリア語を日本語に訳しなさい。

- 1) Si dice che il comune abbia deciso di fondare un nuovo museo in centro.
- 2) Quando vado a vedere i quadri, voglio che qualcuno mi accompagni. Così posso farne una discussione.

(略)

【5】 イタリア語に訳しなさい。

(略)

## 【コラム2：1枚の絵「これもまた受胎告知」】

引き続き、受胎告知。受胎告知の約束事に関しては前回のコラムでお話した。とはいえ、いつの画家もどの画家もこぞって描いたテーマなだけに、決まりごとに則らない受胎告知も数多く、そうした点に着目するのもまた一興。今回はそんな型破りな受胎告知のお話。

アントネッロ・ダ・メッシーナ『受胎告知のマリア』パレルモ州立美術館  
Antonello Da Messina, *Annunciata di Palermo*, Galleria regionale (Palermo)

(略)

SAMPLE